

(様式1)



山口市

## 報道資料

令和4年11月7日

1 件 名	令和4年度中国運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰の受賞について
2 日 時	令和4年11月9日(水) 14時～
3 場 所	ホテルメルパルク広島 5階 瀬戸 (広島県広島市中区基町6-36)
4 内 容	<p>中国運輸局では、運輸部門における環境保全や交通バリアフリー等の取組に尽力し、その功績が顕著であると認められる事業者や自治体等に対して表彰を平成19年度から行われています。</p> <p>本市では、これまで、交通系ICカードの導入支援、グループタクシー制度、シェアサイクルなどの公共交通の利便性向上、利用機会の創出に取り組むとともに、本市の交通政策課が事務局を務める山口市公共交通委員会においても、山口市総合時刻表の発行、山口市ノーマイカーデーの実施、バス教室の実施など、公共交通の利用促進、普及啓発等に長年取り組んでまいりました。</p> <p>こうしたことを踏まえ、今年度の表彰対象団体の一つに本市が選ばれ、「環境保全」、「交通バリアフリー等」の両分野で受賞することとなりました。</p> <p>受賞に合わせて、以下のとおり表彰式が行われます。</p> <p>件名：令和4年度環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰式 日時：令和4年11月9日(水) 14時 場所：ホテルメルパルク広島 5階 瀬戸 (広島県広島市中区基町6-36) 詳細：中国運輸局ホームページを参照ください。 URL <a href="http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_01486.html">http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_01486.html</a></p>
5 出 席 者	交通政策課長
6 問 い 合 わ せ	都市整備部 交通政策課 (担当：藤下) TEL 083-934-2729

令和4年11月7日

## 環境保全及び交通バリアフリー等の推進に 貢献された功労者を表彰します ～令和4年度 中国運輸局長表彰～

中国運輸局では、運輸部門における環境保全や交通バリアフリー等の取組みに尽力し、その功績が顕著であると認められる事業者等に対して表彰を行っています。

今年度の被表彰者が決定しましたので、下記のとおり表彰式を執り行います。

### 記

1. 日時 令和4年11月9日(水) 14:00～
2. 場所 ホテルメルパルク広島 5階 瀬戸  
広島市中区基町6-36
3. 被表彰者及び功績 別紙のとおり

### 昨年度の表彰式の様子



※取材を希望される方は下記連絡先へお申し出ください。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からマスクの着用をお願いいたします。

### ● お問い合わせ先 ●

中国運輸局交通政策部 (表彰式全般・交通バリアフリー等に関する表彰内容について)

Tel 082-228-3499 (大谷<sup>おおたに</sup>・村田<sup>むらた</sup>)

(環境保全に関する表彰内容について)

Tel 082-228-3496 (飯塚<sup>いづか</sup>・松村<sup>まつむら</sup>)

Fax 082-228-3629 <共通>

## 令和4年度中国運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係被表彰者一覧

## 【環境保全】

被表彰者	功績概要
山口県山口市	毎月月末金曜日を「ノーマーカーデー」実施日とし、バス利用半額特典等の「のるトクカード」を参加事業所に配布する他、総合時刻表の発行、「山口市市民公共交通週間」の設定等、市民に対して公共交通の利用を呼びかけ、環境負荷低減に係る活動を積極的に行っている。
全農サイロ株式会社 (倉敷支店)	平成28年度に玉島ハーバーアイランドに営業倉庫を新設し、荷主との連携により、内航船輸送及びトラック輸送を必要としない物流体制を構築することで、環境負荷の低減及び物流の効率化に貢献している。
株式会社 ミカサ	一般的な船尾管ゴム軸受より低摩擦性及び耐摩耗性に優れ、5%程度の燃料低減効果を有する「新型FFベアリング」を開発し、普及させることで環境負荷の低減に貢献している。
宮島松大汽船株式会社	宮島航路を運航している汽船「安芸」は2017年に建造されたため、2022年のドライドック時には軸受を交換する必要がなかったにもかかわらず、国内の両頭型定期航路フェリーで初めて、従来のゴム軸受より5%の燃料低減効果を有する「新型FFベアリング」(株式会社ミカサ開発)にあえて交換し、運航することで環境負荷の低減に貢献している。
岡山県笠岡市	高齢化が進展する離島(北木島・高島)において、島民の港等までの移動手段確保、日本遺産認定に伴う観光客の周遊を目的として、本格的にグリーンスローモビリティを導入し、利用の促進を図ることで、島内交通の活性化及び環境負荷の低減に貢献している。

## 【交通バリアフリー等】

被表彰者	功績概要
山口県山口市	平成20年より継続的に、市自らが主体となって学校施設等でバスの乗り方教室を開催し、乗車マナークイズや車いす体験、席の譲り合いのロールプレイ等を通して市民に「心のバリアフリー」の啓発活動を積極的に行っている。
井上 一成(感謝状)	「バリアフリープロモーター」として当局主催のバリアフリー教室において長年講師を務め、知的障害・身体障害の理解啓発活動を進めている。 また作業所施設を地域の社会資源と捉えて実習や見学の場として解放し、市民に「心のバリアフリー」を広げている。